

平成二十二年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「夏」

期間 平成二十二年五月一日～平成二十二年七月末
投句数 三、二一二句

特選三句

天 山門に一礼汗の俤ひき

神奈川県横浜市港南区 笠置由起子

地 万緑に花鳥諷詠志す

神奈川県横浜市緑区 鈴木敦子

人 老鶯の声も加はり栄西忌

神奈川県逗子市 佐藤信子

入選句

一般の部

香水や江ノ電海に傾ぐとき

千葉県市川市

小高根千尋

日盛りや安産祈願おんめさま

神奈川県平塚市

斎藤正健

結界は竹一本や半夏生

千葉県我孫子市

篠田保雄

鎌倉の空傾けるヨットの帆

東京都練馬区

高山一政

卯の花のやぐらになだれ虚子の墓

東京都調布市

多田昇

長谷寺を優しく包む初夏の霧

神奈川県三浦郡葉山町

中川俊介

侯爵の別邸跡や薔薇の雨

東京都世田谷区

中村芳子

山の風海の風あり濃紫陽花

神奈川県川崎市川崎区

福原瑛子

バラの香の吹き上がり来るコンサート

埼玉県狭山市

古谷彰宏

まぼろしの立子の座る椅子涼し

東京都世田谷区

松本由美子

長谷寺の緑雨の庇しばし借る

神奈川県藤沢市

三間亮司

糸とんばう放生池に羽たたむ

神奈川県横浜市青葉区

武藤光晴

不如帰鳴くや鎌倉谷戸の風

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

木洩れ陽を浴びてひとひら竹落葉

東京都大田区

山田隆紀

由比ヶ浜見下ろす谷戸の鯉幟

東京都板橋区

若林喜美夫

(順不同)

入選句

子どもの部

あめあがりさがしてみようあめんぼう

神奈川県厚木市

永井裕人

あじさいをひとめみたいとひとがくる

神奈川県厚木市

二宮美希

たいようさん毎年夏をありがとう

神奈川県鎌倉市

鈴木朋子

暑さにも負けない笑顔地蔵さん

神奈川県川崎市中原区

義浦彩香

大仏に冷房あててあげたいな

神奈川県横須賀市

小谷綺晶

万緑に映える佐助の鳥居かな

神奈川県横浜市青葉区

西岡小春

暑くても大仏様は座禅中

神奈川県横浜市都筑区

鳥居大誠

夕やけに赤くそまった青い海

神奈川県横浜市都筑区

住川大介

頼朝もこのあじさいをみたのかな

神奈川県横浜市都筑区

大木麻祐子

山のおく清水がわくよ銭洗い

群馬県伊勢崎市

川村嘉裕

大仏のうえにうかんだ夏の雲

群馬県伊勢崎市

井田 姫香

あじさいのかなしきいろにあめがふる

千葉県 柏市

太田 湧也

かまくらのゆうひにそまるつばめのこ

千葉県 柏市

板橋 優太

梅雨の中も大仏さんは座ってる

千葉県千葉市美浜区

泉水まどか

しんりんにみどりいっぱいやされる

東京都品川区

篠原 海咲

(順不同)